

IBM Master Data Management on Cloud

ご利用条件(以下「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オフリング条件」(以下「SaaS 特定オフリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」(以下「一般条件」といいます。)で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オフリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オフリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オフリングのご契約条件」のうち該当する契約条件(以下「本契約」といいます。)が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オフリングに、これらの「SaaS 特定オフリング条件」が適用されます。

- IBM Master Data Management on Cloud Small
- IBM Master Data Management on Cloud Medium
- IBM Master Data Management on Cloud Large
- IBM Master Data Management on Cloud Non-Production
- IBM Master Data Management on Cloud Additional MDM Developer
- IBM Master Data Management on Cloud Additional BPM Developer
- IBM Master Data Management on Cloud Additional MDM Virtual Runtime

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」に記載された以下の課金単位に従って販売されます。

- 「**インスタンス**」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「IBM SaaS」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- 「**エンゲージメント**」は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「IBM SaaS」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 1 か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された 1 か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

5. テクニカル・サポート

「IBM SaaS」に対するテクニカル・サポートは、Client Success Portal を介して提供されます。Client Success Portal には、サポートに問い合わせるためのその他のチャネル（つまり、電話、電子メールおよびチャットなど）が表示されます。テクニカル・サポートは「IBM SaaS」で提供されるものであり、個別のオフリングとして利用できるものではありません。

Client Success Portal へアクセスするには、<https://support.ibmcloud.com> をご覧ください。

以下の表は、IBM が達成するべく努力を払う目標応答時間を示したものです。目標応答時間は、IBM がお客様の最初のサポート要求を受領してから、当該要求について IBM がお客様に初めて返答するまでの時間で測定します。

重要度	重要度の定義	目標応答時間	対象応答時間
1	重大な事業影響/サービス・ダウン 事業上の重要な機能が作動不能である、または重要なインターフェースが機能しない状態。これは通常実稼働環境に適用され、サービスにアクセスできないことによって業務に重大な影響が生じることを示します。この状況は、即時に解決する必要があります。	1 時間以内	1 日 24 時間週 7 日
2	著しい事業影響 サービス事業機能またはサービスの機能が著しく制限されているか、お客様が事業の最終期限に間に合わない危険にさらされている状態。	2 営業時間以内	月曜から金曜の営業時間
3	軽度の事業影響 サービスまたは機能を使用することができ、業務に重大な影響がないことを示す。	4 営業時間以内	月曜から金曜の営業時間
4	最小の事業影響 問い合わせまたは非技術的な依頼。	1 営業日以内	月曜から金曜の営業時間

本書に記載されている目標応答時間は IBM の目標を記載しているのみであり、パフォーマンスの保証を表明するものではありません。

6. 「IBM SaaS」オフリングの追加条件

6.1 Cookie

お客様は、IBM が「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の利用に関連してお客様（お客様の従業員および従契約者）から個人情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBM によるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM、その他の IBM グループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域において、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を以上の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

6.2 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する場所の税金が適用されます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

6.3 非実稼働 (Non-Production) に関する制限

「IBM SaaS」オファリングが「非実稼働」に指定されている場合、サービスは、お客様の内部非実稼働活動用の開発およびテスト環境の一部としてのみ、使用することができます。非実稼働活動には、テスト、性能調整、故障診断、内部ベンチマーク、ステージング、品質保証活動または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の「IBM SaaS」オファリングに対する追加もしくは拡張の開発が含まれますが、これらに限られません。お客様は、サービスのいかなる部分も、適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。

6.4 使用制限

IBM WebSphere eXtreme Scale の使用は許可されません。

6.5 使用制限

6.5.1 Business Process Manager

Master Data Management on Cloud の各種オファリングには、Business Process Manager の各種アプリケーションが含まれます。「IBM SaaS」オファリングに含まれる IBM Process Server、IBM Process Center、および IBM Process Designer の使用は、「マスター・データ・ガバナンス・プロセス」および「マスター・データ・スチュワードシップ・プロセス」のみに限られます。「マスター・データ・ガバナンス・プロセス」および「マスター・データ・スチュワードシップ・プロセス」は「マスター・データ」の作成、読み取り、更新および削除を行い、外部のアプリケーションまたはプロセスによる使用に対してマスター・データの品質を向上させます。マスター・データに関するガバナンスとスチュワードシップのプロセスでは、その他のシステムから追加的なコンテキスト・データへアクセスして、マスター・データ・スチュワードシップ・プロセスの決定事項の脈絡の中で読み取り専用形式で表示することができます。マスター・データに関するガバナンスとスチュワードシップのプロセスは、マスター・データの同期のためのみに、当該のマスター・データの品質に関する決定事項をその他のシステムへ渡すことができます。

6.5.2 Rapid Application Developer

Master Data Management on Cloud の各種オファリングには、Rapid Application Developer が含まれます。IBM Rational Application Developer for WebSphere Software の使用は、「マスター・データ管理ワークベンチ」のホストおよび「IBM SaaS」オファリングに含まれるランタイムのカスタマイズに限られます。

6.5.3 Information Server (IIS)

Master Data Management on Cloud の各種オファリングには、Information Server (IIS) が含まれます。「IBM SaaS」オファリングにおける IIS の使用は、「マスター・データ管理」(MDM) の各種プロセスおよび MDM 関連データのサポートに限られます。

6.6 サービス・レベル目標

IBM は、「IBM SaaS」に関して、以下のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLO」といいます。)を提供します。

- 予定された定期保守時間帯以外のサービス可用性: 99.9%

サービス・レベル目標は目標であり、お客様に対してなんら保証するものではありません。IBM は、「サービス・レベル目標」を満たさない場合でも、お客様に返金、割引またはその他の救済措置を行うものではありません。

6.7 MDM on Cloud に対するお客様の義務

お客様には、MDM、「オペレーティング・システム」、およびその他のソフトウェアのパッチを遅れることなくインストールして障害の回避、セキュリティ上の問題の回避、新規機能を最新の状態に維持する義務があります。

IBM は、お客様だけでなく、その他のお客様への影響を回避するために、お客様に適時に重要なセキュリティ・パッチをインストールするよう要求することができます。これを実行しない場合には、お客様の「IBM SaaS」サービスの中断につながる場合があります。

お客様は、ノード上で「IBM SaaS」と併用するために追加の第三者パッケージをインストールすることができます。IBM には、かかるパッケージをサポートする義務はなく、かかる追加パッケージに起因す

る「IBM SaaS」のパフォーマンス (つまり、MDM、オペレーティング・システム、またはハードウェア・プラットフォーム全体) への影響に対して責任を負うものではありません。

お客様はソリューションをバックアップする責任を負います。

お客様はソリューションを監視、復旧する責任を負います。

別紙 A

1. IBM Master Data Management on Cloud

IBM Master Data Management on Cloud は、単一ドメインまたは複数ドメイン (お客様、サプライヤー、場所、製品、サービス・オフリング、アカウント、その他) のマスター・データを管理して、アプリケーションとビジネス・プロセスの有効性を高めます。

サービス指向アーキテクチャーは、既存のビジネス・プロセスおよび技術アーキテクチャーに MDM をシームレスに統合するために使用可能な、インテリジェントで事前にパッケージされた Web サービスを通じて機能を提供します。

あらゆるドメインに対して事前に構築された拡張可能なデータ・モデルはマスター・データ管理用に最適化されます。

ビジネス・プロセス管理機能によりお客様は各種ポリシーを実装し、データ・スチュワードシップおよびデータ・ガバナンスのために複数のステップや複数の役割のワークフローを組むことができます。

Stewardship Center では、ビジネス・ユーザー、データ・スチュワード、および IT チームは、データ品質タスクを解決し、コーポレート・ガバナンス・ポリシーに従ってマスター・データを作成することにより、マスター・データを共同で向上させることができます。

マッチングと検索のエンジンでは先進的な統計技術を採用して、確率論的または決定論的なオプションによりデータ品質上の問題を自動的に解決して管理します。

1.1 IBM Master Data Management on Cloud Small

IBM Master Data Management on Cloud Small の計画は、仮想サーバー構成にインストールされた MDM を提供するもので、実稼働または実稼働前の運用のための「MDM ハブ」としてふさわしいものです。ハードウェア構成は以下のとおりです。

システム・タイプ	仮想プライベート 2GHz
AppServer	
● ノード数	2
● ノード当たりのコア数	4
● ノード当たりの AppServer RAM (GB)	16
● AppServer ハード・ディスク	2つのディスク 100GB + 300GB ローカル・ディスク
DB サーバー	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	4
● DB サーバー RAM (GB)	16
● DB サーバーのハード・ディスク	1 SAN ディスク 1TB
BPM サーバー	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	8
● BPM サーバー RAM (GB)	32
● BPM サーバーのハード・ディスク	1 SAN ディスク 1TB

システム・タイプ	仮想プライベート 2GHz
Information Server	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	4
● Information Server RAM (GB)	16
● Information Server ハード・ディスク	2 SAN ディスク (100GB +500GB)

1.2 IBM Master Data Management on Cloud Medium

IBM Master Data Management on Cloud Medium の計画は、仮想サーバー構成にインストールされた MDM を提供するもので、実稼働または実稼働前の運用のための「MDM ハブ」としてふさわしいものです。ハードウェア構成は以下のとおりです。

システム・タイプ	仮想プライベート 2GHz
AppServer	
● ノード数	2
● ノード当たりのコア数	8
● ノード当たりの AppServer RAM (GB)	32
● AppServer ハード・ディスク	2つのディスク: 100GB + 300GB ローカル・ディスク
DB サーバー	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	8
● DB サーバー RAM (GB)	32
● DB サーバーのハード・ディスク	1 SAN ディスク 2TB
BPM サーバー	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	8
● BPM サーバー RAM (GB)	64
● BPM サーバーのハード・ディスク	1 SAN ディスク 2 TB
Information Server	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	4
● Information Server RAM (GB)	16
● Information Server ハード・ディスク	2 SAN ディスク (100GB +500GB)

1.3 IBM Master Data Management on Cloud Large

IBM Master Data Management on Cloud Large の計画は、ベア・メタル・サーバー構成にインストールされた MDM を提供するもので、実稼働または実稼働前の運用のための「MDM ハブ」としてふさわしいものです。ハードウェア構成は以下のとおりです。

システム・タイプ	Xeon E5 2620 デュアル・コア
AppServer	
● ノード数	2
● ノード当たりのコア数	12
● ノード当たりの AppServer RAM (GB)	64
● AppServer ハード・ディスク	2つのディスク: 100 GB + 300 GB ローカル・ディスク
DB サーバー	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	12
● DB サーバー RAM (GB)	64
● DB サーバーのハード・ディスク	2 x SAN ディスク 2TB
BPM サーバー	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	16
● BPM サーバー RAM (GB)	32
● BPM サーバー・ストレージ	2x SAN ディスク 2 TB
Information Server	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	4
● Information Server RAM (GB)	16
● Information Server ハード・ディスク	2 SAN ディスク (100GB +500GB)

1.4 IBM Master Data Management on Cloud Non-Production

IBM Master Data Management on Cloud Non-Production の計画は、仮想サーバー構成にインストールされた MDM を提供するもので、「MDM ハブ」および関連プロセスの開発、カスタマイズおよび機能テストのための環境としてふさわしいものです。

IBM Master Data Management on Cloud Non-Production には、2つの共有の非実稼働 MDM ランタイム・インスタンスが含まれますが、1つは開発統合テスト用、2つ目が QA テスト用です。その「インスタンス」にも2つの MDM Developer インスタンス、および2つの BPM Developer インスタンスが含まれます。

ハードウェア構成は以下のとおりです。

システム・タイプ	仮想プライベート
Master Data Management on Cloud Additional Virtual Runtime x 2	
● AppServer ノード (仮想ランタイム当たり)	1
● ノード当たりのコア数	8
● AppServer RAM (GB) (仮想ランタイム当たり)	16 GB
● AppServer ハード・ディスク (仮想ランタイム当たり)	500GB SAN ディスク
● DB サーバー・ノード (仮想ランタイム当たり)	1
● ノード当たりのコア数	4
● DB サーバー RAM (GB) (仮想ランタイム当たり)	8 GB

システム・タイプ	仮想プライベート
● DB サーバーのハード・ディスク	500GB SAN
Information Server	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	4
● Information Server RAM (GB)	16
● Information Server ハード・ディスク	2 SAN ディスク (100GB +500GB)
MDM Developer x 2	
● MDM Developer ノード	開発者当たり 1 ノード
● ノード当たりのコア数	8
● MDM Developer ノード当たりの RAM (GB)	16 GB
● ディスク	2 つのローカル・ディスク (100GB + 300GB)
BPM Process Center	
● ノード数	1
● ノード当たりのコア数	16
● RAM (GB)	16GB
DS/QS 設計クライアント	1 ノード
● ノード当たりのコア数	4
● RAM (GB)	16

1.5 IBM Master Data Management on Cloud Additional MDM Developer

IBM Master Data Management on Cloud Additional MDM Developer は、「MDM ハブ」および関連プロセスの開発およびカスタマイズ用に追加の MDM Developer インスタンスを提供します。

ハードウェア構成は以下のとおりです。

システム・タイプ	仮想プライベート 2.0 GHz
Master Data Management on Cloud Additional MDM Developer	
● ノード数 (開発者当たり)	1
● ノード当たりのコア数	8
● RAM (GB)	12
● ディスク	2 つのローカル・ディスク (100 GB + 500GB)

1.6 IBM Master Data Management on Cloud Additional BPM Developer

IBM Master Data Management on Cloud Additional BPM Developer は、「MDM データ・ガバナンス」プロセスおよび「MDM データ・スチュワードシップ」プロセスの開発およびカスタマイズ用に追加の BPM Developer インスタンスを提供します。

ハードウェア構成は以下のとおりです。

システム・タイプ	Xeon E3 1270 V3 3.5 GHz
Master Data Management on Cloud Additional BPM Developer	
● ノード数 (開発者当たり)	1
● ノード当たりのコア数	8
● RAM (GB)	12GB
● ディスク	2つのローカル・ディスク (100 GB + 500 GB)

1.7 IBM Master Data Management on Cloud Additional Virtual Runtime

IBM Master Data Management on Cloud Additional Virtual Runtime は、IBM Master Data Management on Cloud Non-Production の計画において追加の「MDM 仮想ランタイム」インスタンスを提供します。

ハードウェア構成は以下のとおりです。

システム・タイプ	仮想プライベート 2GHz
Appserver	
● AppServer ノード (仮想ランタイム当たり)	1
● ノード当たりのコア数	8
● AppServer RAM (GB) (仮想ランタイム当たり)	16 GB
● AppServer ハード・ディスク (仮想ランタイム当たり)	500GB SAN ディスク
DB サーバー	
● DB サーバー・ノード (仮想ランタイム当たり)	1
● ノード当たりのコア数	4
● DB サーバー RAM (GB) (仮想ランタイム当たり)	8 GB
● DB サーバーのハード・ディスク	500GB SAN

1.8 セットアップ・サービス

以下のセットアップ・サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入するものとします。

1.8.1 IBM Master Data Management on Cloud Jump Start Remotely Delivered

このセットアップ・サービスは、スタートアップ・アクティビティーについて最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには、(1) ユース・ケースによる支援、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールの実績のあるプラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題が含まれます。(以下総称して「スタートアップ・アクティビティー」といいます。) このリモートで提供されるセットアップ・サービスは「エンゲージメント」ごとに購入するものとし、全時間数を使用したか否かにかかわらず、お客様の「証書 (PoE)」に記載された使用許諾の購入日から 90 日後に満了となります。

1.8.2 IBM Master Data Management on Cloud Accelerator Remotely Delivered

このセットアップ・サービスは、アクティビティーの実行に使用される最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには、(1) ユース・ケースによる支援 (1 回限りのポイント・イン・タイムのデータ移動を支援するデータ移動のユース・ケースを含みます。)、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールの実績のあるプラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス (ソース環境およびターゲット環境のセットアップ、およびデータ移動のユース・ケースに定義されるデータ移動を含みます。)、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題が含まれます。(以下総称して「アクティビティー」といいます。) この

リモートで提供されるセットアップ・サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入するものとし、全時間数を使用したか否かにかかわらず、使用許諾の購入日または「IBM SaaS」の当初サブスクリプション期間の最終日のいずれか早い日から 12 か月後に満了となります。

2. 個人情報および規制コンテンツ

本「IBM SaaS」は、個人情報またはセンシティブ個人情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティ要件に即して設計されているものではありません。お客様は、お客様が「IBM SaaS」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「IBM SaaS」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。

「IBM SaaS」は、1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) に基づいて保護されている保護医療情報 (PHI) の伝送または保存のために使用することはできません。ただし、(a) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (b) IBM がお客様に「IBM SaaS」が PHI とともに使用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「PHI」を処理するために「IBM SaaS」を使用してはなりません。